

刊夕 日三十廿月三



定価 一部全紙 一月五拾五銭 郵費別
 廣告料 五拾五銭 印刷 行金五拾五銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇〇番



農村は
救はれず

代議士 高橋熊次郎

四、農村の中産階級を正視せよ

次に今日財界の不況の爲に最も苦んで居るものは、申す迄もなく今日の衣食に窮して居る者であるけれども、是等の人々に次いで、餘り差のない程度に苦んで居る者は、農村の中産階級であらうと思ふ。此中産階級に對して、吾人は之を維持し、之を擁護する策がなかるべからずと考へる私共は、農民が苦んで居る中からして、農民が眞面目に働いて居るといふのは、此中産階級現存の力であると思ふ。窮乏の裡にあつても、我が日本の農村は農會であると

人間の體温は普通 三六五度 三七度だが鳩は平均四一度、猫は三九度、犬は三八度である。

か、或は産業組合であるとか、其他農業關係の團體を組織して、其活動に依つて進歩發達して居るのは、實に是等の地方農村の中産階級の力である。此人々は此

以外に於ても、農業關係ばかりでなく、教育の事、或は宗教、或は金融機關、兵士の後援會等、常に農村の中堅として國家の爲に活動を續けて來て居るのである。殊に陸海軍將校又は官吏實業界等に、幾多の高等教育機關を卒業したる、子弟を

- 明日の献立
 ◎0000000000
 ◎0000000000
 ◎0000000000
- 【朝】味噌汁 若芽 小井 福神漬
- 【晝】お刺身 白肉魚 も どし海苔 わさび
- 【晚】角煮 豚肉 焼物 めざし

是等に送り、以て此方面、即ち國家各機關の中堅人物として、國家の堅實なる發展に貢献したる功績は、洵に尠くないのである。農村には依然國家社會の基礎的重要分子として其存在を重視せられて居ることは、單に食糧品の供給者として、國民生活の基礎的物資を供給して居るだけではない。實に堅實なる中堅國民を國家の爲に供給し、又成育しつゝある爲である。然るに此農村の堅實性を保護し來つた最大の功勞者たる、中産階級に屬する中地主が、年と共に衰亡に瀕しつゝあるは、實に悲しむべき、又洵に憂慮すべき現象と申すべきである。



ふるさと

小野たけを

朝の大空をつらぬく
 赤井湯の嶽の雄姿よ
 やせても涸れても
 不斷と正義とを絶叫する
 夏井川の清流!
 あゝ湖風に鳴る樹梢の影にも
 春を俟つ
 純情の涙はあるものを……
 生命を育くむ三月の太陽
 鏡面のごとく
 光り澄む郷土の空
 友よ、肩をあげて
 雄揮なるふるさとの
 フイエスに
 も一度接吻しやう
 そして進まう
 この華々しい
 行進の曲を聴きつゝ、
 人類の大いなる信念に向つて……

木村外科醫院

平町六丁目橋際
 電話三〇九番

看護婦急派
 の求めに應
 じます
 平町南町
 平看護婦會
 電話三〇七

株式賣買債權取立
 會社 三 共 商 事
 大町 電話三六〇番

貸切の御用命は!
 電話六四〇番
 尼子タクシーへ
 是非お願いいたします
 遠乗りには特に御相談に應じます

かまぼこ製造
 お惣菜用
 さつま揚
 吉原揚
 平町一丁目
 電話一四一番

ランドセル

・全部玉付の石板が樂に入ります・

大 型	0.95 銭
學修院型	1.5
〃	2.0
〃	3.00
〃	5.5

セピアと黒各種

カバンとポーシ
 手提カバン

・補助運動靴景品は賣出中・

ツルヤ

牛四・電一四〇

専門 産科
 婦人科
 花柳病科
 入院隨意
 井坂醫院
 平町田町 電話五五九番

吉田眼科病院
 平紺屋町 電話六八番
 醫學士 吉田久雄

電話新設
 電話五一八番
 平町松ヶ岡公園内
 春木亭

貸切の御用命は
 ぜひ……三井自動車部へ!!!
 電話六八五番
 ◎乗合は好間、合戸、澤渡方面行

開館の迫る

國防博の威容!

既に設備なる

大量団体參觀の申込

平町の満蒙と國防博覽會は、愈々開館も迫つたと同時に、各種の設備も漸く整ひ本館内部は既に出品物の陳列が終り来る廿七日頃には産業館内に平町各商店よりの出品物が出揃ふ等にて開館を待つばかりとなつたが、本日は郡内団体申込のトップを切つて田入青年團六十名の參觀申込があり、縣外からは茨城縣日立礦山の八百名及び多賀郡關係で八千名と云ふ大量団体の申込み相次ぎ早くも博覽會氣分が濃厚となつた。

豫定額を

遂に突破

大火義捐金

既報平町が大野、大浦兩村大火の罹災者に對する慰問金は去る十八日より市内全區を動員して寄附募集を行ひ、昨廿二日を以つて締切つたが、寄附總額は五百二十四圓二十九銭に達し、豫定額の五百圓を突破する好成績を見たので、明廿四日罹災地へ贈ると。

団体客お迎え

藝妓が出張

平藝妓屋組合では觀櫻客への新サービスとして他地からの遊覽客を接待する爲め、美妓連を動員して茨城方面の団体は助川迄、中通方面は川前、仙臺や松島地方は富岡へと夫々出張に及んで、車内の款待を怠らざるや、團體客が大いに好感をもつて、平町に繰り込む事の出来る様大いに優腕を振ふる事になつた。

庶民金庫

總代初顔合

平信用組合庶民金庫改選後、初顔合の總代選舉は、明廿四日午後一時より開會理事及び監事を改選する外諸般の事項を協議すると。

平消防を視察

平町消防組織視察の爲め、岩瀬郡平瀨村の消防組頭佐藤恒

次氏外十餘名の一行は、本日來平明日植田町に向ふ。

入營前の見學に

自轉車で若松へ

雪の道三百キロを踏破

感心な兩青年

好間村第二青訓生鈴木長一、鈴木勝太郎の兩君は、六月下旬朝鮮南師團に入營する爲め、前に一應軍隊生活を學びたいと、此程自轉車を飛ばし、雪の若松隊を見學し、約三百キロを踏破無事歸村した。

通學道路

消防が修繕

草野村消防組第七、八の兩部員八十名は、本廿三、廿四の兩日、同村小學校兒童の通學道路土盛工事の爲め、出動奉仕作業を行ふ。

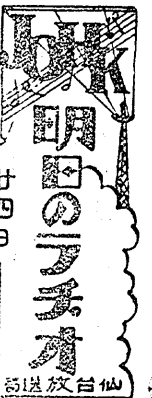
娼妓希望の女が

平署に駆け込む

どうせ身賣りするならと

哀れ病父の犠牲

昨廿二日夜九時頃、平署の受付係に、歳若く女が「娼妓に世話して下さい」と願ひ出したので、係官が事情を聞くと、同人は南町飲食店三島屋事、遠藤ナツ方酌婦宮城縣伊具郡福徳村、日光生れ尾崎イナヨ(一七)で、十日前に重病の父を救ふ爲に、前借三百五十圓で、前記三島屋方の酌婦に住



今晩の部
後六〇〇うたのおけい
武岡鶴代
後六、二五 英語講座(六ノ二) 富田杉
後七、三〇 但馬お國自慢
練場音頭 札幌西崎華鳥他
さんさ時雨奉節 高橋そ
の大橋馨波 仙臺左義長 ば

氣象通報 番組預告
明日の部
前九、三〇 うたのおけい
武岡鶴代
前一〇、〇〇 講演「詩吟について」大藤唯男
前一〇、三〇 講演「源平決戦の日」島津久基
前一一、〇〇 彼岸會法要
鶴見總持寺中繼
後一、五〇 滿洲の旅について
加藤郁哉
後一、二〇 吉備樂
後一、五〇 舞臺劇 さんざり狂言研究(四)「楠公

遺訓軍歌響「市川右團次一座」
後二、五〇 講演「伊井直澄の忠節」神田伯治
後五、三五 講演「東北地方の電氣事業について」小林久治
後六、〇〇 チョビ動物語(終)「攝津守チヨビ助」BKコドモサークル
後七、三〇 歌劇「カルメ」藤原義江 佐藤美子他
後八、一〇 新内「お染久松藏の段」富士松春太夫
浪花節「貞女お仙」小金井太郎

米穀商が

正式組合を

永戸村大字上永井部落は、此程米穀倉庫組合組織し、間口四間、奥行五間の倉庫を設置する事となり、目下工事中であるが、來月十日頃落成の豫定。

父の貯金を

引出して

湯本町字日渡現業山留吉の二女八重子(一八)は、去る廿一日夜東京で一流の美粧家になるとして父の貯金通帳から二百二十圓を引出して、家出した由にて、本日平署に捜査方を願ひ出した。

廿六日に

火防宣傳

既報平署管内の火防運動は、昨廿二日の降雪の爲め延期

木炭倉庫

永戸に建設

永戸村大字上永井部落は、此程米穀倉庫組合組織し、間口四間、奥行五間の倉庫を設置する事となり、目下工事中であるが、來月十日頃落成の豫定。

平町人事

結婚

△南町四八安齋三(三二)氏 四倉町新町竹永フケ(二五)さん
△東京市品川區大井鈴ヶ森町吉田國太郎(五二)氏 飯治町二六宮田トク(二二)さん

平職界紹介所報告

求人求める方

△漁夫 三十以下 月十五圓
△自動車助手 十七迄 尋卒月三圓

二面よりの續き
鈴木剛二 小野賢司 青木敬之 井上明 鈴木英雄 猪狩侯夫 鈴木高光(進歩) 江尻一 増子久雄 植田甲子 尋五(女組)永島佳子 影山サト子 野澤登記枝 林清子 鈴木文子 山崎恒代 工藤甲子 江尻朝子 志賀綾子 高萩芳子(進歩) 酒井富貴子 西郡絹子 酒井貞子 尋六(男組)松崎惣兵衛 今田實 竹村彌實 久保木清次 金成桂一 佐藤光雄 瀧口勝久 千葉仁郎 多田井總雄 吉田義男 中川仁(進歩)鈴木芳男 草野一之 國井定員 △尋六(女組)白土貞子 張文字 白土ノブ子 川崎初子 林淑子 三森清子 鈴木勝江 平澤ウタ 玉木勝子 新妻ハル子 渡邊ヨデ子 小菅正子(進歩)小野寺正 佐藤カツ子 關峯キ



明治太平記

(作) 寺島征史

(監) 野口 隆

第八十二回

百姓 牢 (八)

大志賀は、やはり勝手にしやがれといった風にな、會津殿様田樂好きだ城の丸焼ほんまに味噌つけた

ヤッコラセー

「ハ、ハ、城の丸焼かい。もつとやれ」

「尋を生やして官員ならば猫や鼠はみな官員」

「もう、これでゆるしてもらほう」

大志賀は口を結んだ

「もつと、やれ」

「やれ、てめえなかに、聲がい、ぞ、やつてみる」

大志賀は口を結んだまま、牢頭を睨まへた

「うたへー」

「いやだ」

「何」

「おれは艶歌師ではない」

「何を！ うむ牢内の掟をわすれたか」

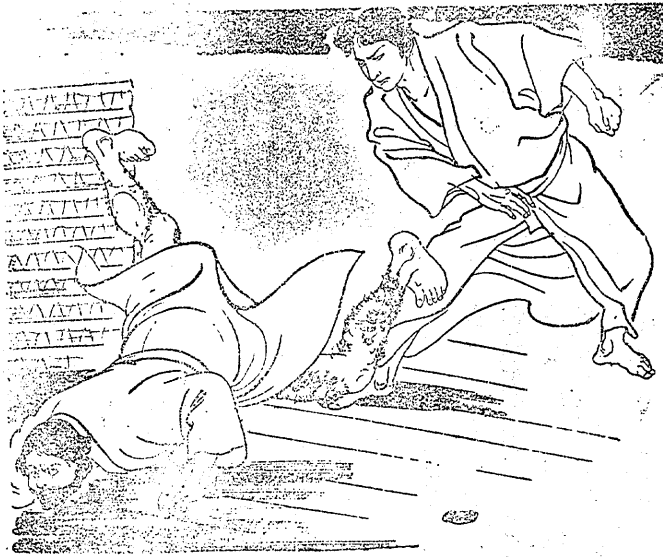
「一番は片膝を立てた」

「掟か……ところが合憎おれは入牢者ではなかつた」

「黙れ！ いまのさつきこの百姓牢へ投り込まれ」

誰だつた」
「おれは陣正臺の渡邊昇に面會にまゐつたのだ。うぬらに用はない」

短慮一徹の大志賀はもう抑制する力を失つてをつた旗本大志賀市之丞のむかし



の氣性に立かへり肩を張り胸をつき出して、反抗の意を示した。

一番役と二番役が同時に立上つて大志賀の傍へ来た「やい、牢頭にたてつこの一番役が肩を抑へようと

「無禮者！」

凍とした聲でそれを拂ひのけた

「うぬ」
襲ひかゝる二番役をこんどは得意の柔術で板敷へ叩きつけた。大志賀はいつのもまにか板敷のうへに突立つて、四邊を睨め廻してゐた

「抑へろ！ 牢内を亂す大それた奴だ、やつちまへ」

牢頭は一驚高く吠えんと隠居、隅隠居、若隠居から四番役、五番役、膳番までが一齋に立上つた。

「來い」
大志賀は無手だがもう牢

内の正論家だけでなく野に

ある有志の間にも、ねつしんに唱へられてゐる、いはば國民の意志と感情の矢帆なのだ。

が、この征韓論の内容はどれもこれもはなはだ空漠な感情論に終始してをつた幕府が倒壊して新政府が成立した。この機會を逸せず速に兵を送つて無禮至極な朝鮮を征め取つてしまへ。

と、まアいつた、感情一點張りの論旨だつた。

ダイヤ

サンゴ 即金買

ヒスエ

東北商行

福島縣 平町
仲田町七二番地
電話六五三番

店主か店員

を運れて行

か せる

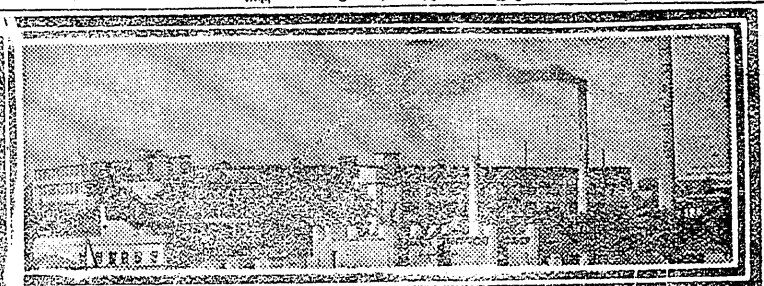
正 シ イ 食堂

正 シ イ 喫茶

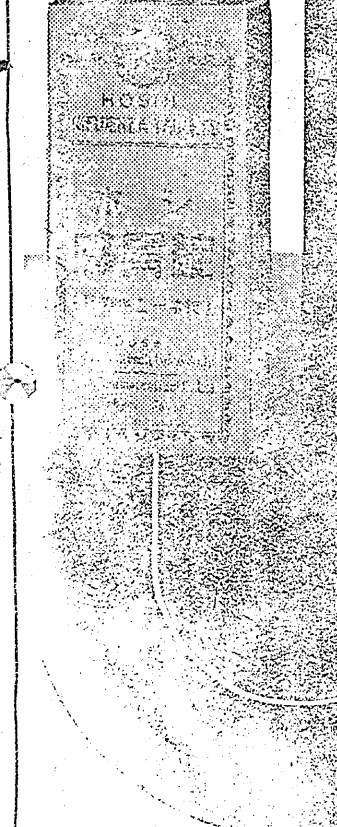
正 シ イ 酒場

平・田町
レストサロン
電話二五三番

藤沼醫院
平町・紺屋町
電話五〇七番



リスク



ホシ

感冒の豫防と治療

ホシ感冒錠は、キニーネを主剤とする強固な薬性をもつた唯一の感冒薬であります。ホシ感冒錠は熱の放散を盛んにし、且熱の發生を減少せしめます。又心臓の働を良くしますから心臓の弱い人の感冒にも適します。

キニーネは食欲を促進し、又物質代謝作用を強めます。心臓から心身を養ひたる人、胃腸の弱い人に強固な薬性を補給するに最も適した薬性であります。

キニーネを主剤とするホシ感冒錠が流行性感冒に特別に奏効しますのはキニーネがマリアア酸を排泄せしむると同時に、同様の働をするからであります。

流行性感冒の豫防と治療には非本剤をお勧め致します。

(複方キニーネ錠)

一 キニーネはマリアア酸を特別に排泄し、強固な薬性として、世界人の多くその重要性を認める所であり、キニーネは世界七ヶ國のキニーネコンベンションの員として製造し會つては、世界第二位の製造成績を示して来たのであります。

二 然るに、本社が大正五年台湾各地にキニーネ樹を植へ、翌十一年その産林に着手せるキニーネは、スケールと成長し、今や世界の世界的工場に於いて日本最初の純國産キニーネが製造せらるゝに至り、品質は、その事業を世界に進展せしむるためその協定に添入中であり、我々が、キニーネを主原料とする世界第一の製造廠をたらしめんとする本社の使命遂行の日に近づくべきであります。

ホシ風薬 (0.50)

アセトアミド及びカフニン含有する解熱剤であります。

ホシアスピリン (0.30)

解熱作用を強固な薬性として、カフニンを補助し、アスピリンの副作用を補ひ、胃腸にやさしい薬性を有する。

ホシ鎮痛熱薬 (0.50)

黒部が研究する鎮痛、解熱、頭痛等に特効する。

ホシ法痰薬 (0.50)

本剤は、無毒の成分で大肺病ならしむることに依つて、痰に効を奏す。

ホシユウカロール (0.30)

ユウカリ油を主剤とする最新の一吸入剤。

ホシオイピラミン (0.40)

結核菌の殺菌、百日咳、喘息、肺の防止に。

ホシ鹽規カプセル錠 (0.18)

鹽規キニーネ。

ホシ複方鹽割散 (0.20)

強力な殺菌及び防腐の効を有する合剤。

社會式株藥製星 田反五・京東